

令和7年度



緑風

狭山台小学校だより第10号

令和8年2月2日

児童数 380人

◎ かしこく やさしく たくましく

“春”に向かって 充実した2月に

3学期が始まって早ひと月が過ぎ、2月・如月（きさらぎ）を迎えました。寒い日が続いていますが、この時季は、梅のつぼみがほころび、日差しの中に春の訪れを感じ始める頃でもあります。明後日2月4日は“立春”、暦ではこの日から新しい季節「春」が始まります。

立春といえば、毎年4日に当たると思われている方もいるかもしれませんが、去年は今年より1日早く2月3日が立春でした。暦は、「地球と太陽の位置関係」に、「二十四節気（にじゅうしせっき）」の考え方を取り入れて決めているため、立春の日付は、毎年若干変動しています。2021年からは4年に一度、2月3日になることが続きます。

そして現代の新年は1月1日ですが、昔の人は生活を営む上で、1年の始まりを「春」と捉えていたため、立春の日を新しい年の始まりと考え、決まり事や季節の節目の起点の日にしてきました。「夏も近づく…」で始まる童謡“茶摘み”の歌詞にある有名な八十八夜、二百十日や二百二十日も、立春から数えています。また、立春の「立つ」という漢字が「始まる」という意味を持つことから、「春の始まり」を表しています。そう考えると立春は、長い冬が終わってようやく春めいてくる日として、昔から待ち望む日であったと思います。

新学期の始まり、1月には“芸術に親しむ”活動を楽しみました。上旬に、2学期から取り組んだ書き初めの仕上げとして「競書会」を行いました。子供たちは学習の成果を発揮して、一人一人が大きく堂々とした作品を書き上げることができました。また23日にはサックス・ピアノ・マリンバ&パーカッションのグループ、SENPURESUTO（センプレスト）の方をお招きして「音楽鑑賞教室」を行いました。ディズニーや運動会メドレーなどを楽しく鑑賞、初めて見る楽器の紹介や音の違いなども、分かりやすく教えていただきました。どちらの活動も、充実した時間を過ごすことができました。

3学期は、一つ上の学年へ進級、進学に向けて、自分を「成長」させるための大切な時間です。毎日を前向きに頑張っている狭山台小の子供たちが、素敵な“春”を迎えるためにも一人一人が目標に向かって努力して、2月の学校生活を、充実してくれることを願っています。今月も、皆が元気に学習や生活に取り組めるよう、ご支援ご協力をお願いいたします。

